

京都芸術劇場ニュースレター



特集

市川猿之助芸術監督プログラム

春秋座歌舞伎舞踊公演

市川笑三郎さん・市川段治郎さん・市川弘太郎さんインタビュー—2P

『海の讃歌』による初来日公演が決定！ フランス演劇界の巨匠

クロード・レジ

半世紀以上にわたる演出家人生をクローズアップ—3P

市川猿之助 京都芸術劇場 芸術監督より

おかげさまで京都芸術劇場は2001年の開設から10年目を迎えます。

これまで古典芸能を始め現代の多様な舞台芸術作品を上演し、また、大学の中にある劇場としての特色を生かし、多くの学生が公演に関わり、伝統と前衛の両方に触れる数々の場を生み出すことができました。これもひとえに劇場へ足をお運びいただいた沢山のお客様のおかげです。心より御礼申し上げます。

今年度も京都芸術劇場では歌舞伎はもちろん、能・狂言・語り・落語・オペラ・ダンス・現代演劇や学生公演など様々な作品の上演を予定しております。いずれの公演もお客様にお楽しみいただけることと思います。どうぞ京都芸術劇場へお越し下さい。

私自身は、2009年4月に芸術監督に復帰し、これまで2回、春秋座において春の歌舞伎舞踊公演、秋の歌舞伎公演を開催

いたしました。復帰後の芸術監督プログラム第3弾である今春の「春秋座歌舞伎舞踊公演」では故・初世藤間紫を偲ぶ演目や京都に縁(ゆかり)のある演目を上演いたします。

日本舞踊は歌舞伎俳優の基本です。手の動き、足の動き、体の使い方、邦楽との調和などと、演技術として必ず修得しなくてはならない大切なものです。また、歌舞伎俳優の演ずる舞踊は、“役の心”をしっかりと表現いたしますので、一味違う醍醐味があります。5月、新緑もゆる京都でのひとときをお楽しみいただければ幸いです。

これからもお客様の熱気を、出演者・スタッフそして学生が感じ取ることのできる活気のある空間でありつづけたいと思っております。

今後とも何卒、京都芸術劇場を宜しく願いたします。

市川猿之助

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも快く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はさまざまですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当学主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどご案内!有効期限は入金日より1年間です。更新毎に年会費(2000円)をお納めください。

《入会方法》

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費2000円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途100円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)

[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【友の会感謝デー】開催決定!

9月4日(土)、友の会会員様限定の会を春秋座にて開催いたします。

普段ご覧いただけない劇場バックステージのツアーや、劇場関連グッズが当たる抽選会を予定しております。昨年行った抽選会では、芸術監督市川猿之助のサイン色紙などを用意しましたが、さて今年は……。

会員の皆様には、詳細やお申込み方法を夏頃にお知らせいたします。

【オンライン会員】

登録無料! 24時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。
(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

劇場へ行ったら、ここにも行こう

観劇のお帰りに、開演までのお時間に。芸大にある劇場ならではのお楽しみ。

【Galerie Aube/ギャルリ・オーブ】

春秋座を出て左手にすすむと、開放的な空間が広がっているのはご存知でしょうか。ここにあるのが、展示スペース、ギャルリ・オーブです。

ギャルリ・オーブでは、教員や学生たちの制作発表だけでなく、国内外の作品を展示した企画展なども実施し、多彩なプログラムを展開しています。



2009年度 京都造形芸術大学大学院 修了制作展 展示風景

ギャルリ・オーブの主な催し物

3月29日(月)~4月23日(金)

瓜生山 春の顔見世 美術工芸学科教員作品展

5月14日(金)~6月9日(水)

寶鉸展“Flash Back”

6月16日(水)~7月11日(日)

めばえ — 学科優秀作品選抜展—

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel. 075 791 8240

営業: 平日10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio 21

606 8271 京都市左京区北白川瓜生山2 116

tel. 075 791 9437 fax. 075 791 9438

http://www.k-pac.org/



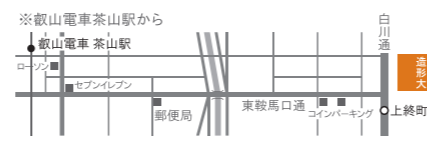
劇場モバイルサイト

オンラインチケットストア

http://www.k-pac.org/ticket.html (パソコンから)

http://www.k-pac.org/theatre/m/m (携帯から)

※オンラインでの取り扱いがない公演・券種もございます。



◎JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

◎京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◎京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター

vol.15

発行日—2010年4月1日

市川猿之助 芸術監督プログラム 藤間紫を偲んで

春秋座歌舞伎舞踊公演

5月8日(土) 14:00

●公演情報の詳細は▶P.5



笑三郎さんは芝居のことから猿之助師匠のことまで本当に色々なことを知っていてコンピュータですね(笑)。段治郎さんは舞台でもプライベートでも引張ってくださる本当にいい先輩なんです。——弘太郎

舞踊は長唄や清元、常磐津などの音が主になる。芝居は台詞が音の主になる。どちらもドラマはあるけれども、そういう表現の違いがあると思います。——段治郎



お芝居がドラマならば、歌舞伎舞踊は一つの音楽の中でマイムで見せる、オペラに対するバレエみたいなものかなと思います。——笑三郎



左から市川弘太郎さん、市川笑三郎さん、市川段治郎さん、段治郎さんと笑三郎さん曰く弘太郎さんは「舞台に対する姿勢は熱い男」なのだとか。

春秋座で一春は歌舞伎舞踊、秋は歌舞伎を一という市川猿之助芸術監督によるプログラムです。今回は歌舞伎舞踊『相模蟹』『橋弁慶』に加え、市川笑三郎さんによる『歌舞伎舞踊への誘い』と題した歌舞伎舞踊の魅力や演者の視点から解説するのも見もの。今公演の見所と意気込みを市川笑三郎さん、市川段治郎さん、市川弘太郎さんのお三方にうかがいました。

以前は京都造形芸術大学で、毎年夏に猿之助一門の方々による歌舞伎演習授業がありましたが、当時の思い出は何かありますか？

段治郎 最初の頃は体育館で実技をされていて、とにかく暑くて、もうみんな浴衣がベトベトでね。お扇子は年を重ねると学生の汗でカビがはえちゃうんですね。

笑三郎 大変でしたよね。

段治郎 僕は入ったばかりで人に教えるなんてとんでもないことだったんですけども、逆に教えることでこちらが教わったというか。僕もこの授業を通じて役者のイロハのイから教えていただいたと思います。

—今回の舞台は「藤間紫さんを偲んで」ということなのですが、紫さんの芸に対する姿勢から学んだことは、どんなことですか？

笑三郎 もちろん日本舞踊紫派藤間流の家元、大先生であるけれども、芸の根本は歌舞伎に憧れを持った方なんです。ただ女性なのでプロの歌舞伎俳優になれないのがものすごく残念で、だったら歌舞伎ができる女優というか、そういう道に進みたいと。だから、よく「なんで私がプロの俳優さんに教えなくちゃいけないのよ〜」と謙遜しておられましたが、歴代の名優さんとお付き合いされて貪欲に教えを受けられていて、本当によくご存知なんです。だから立役であろうと女形であろうと本当に色々な役を教えてくださいました。

段治郎 私生活も含めて本当に我々の母親的存在でしたからね。とにかく日頃、お芝居の事を考えて、生き方もそれに反映されていました。だから色々な面でご指導いただきましたし、歌舞伎舞踊の道では第一人者でしたから、その教えを請えたことはすごく財産ですよ。

弘太郎 子供の頃からお稽古をしていただけて、やっと最近、大人としてお稽古も見ていただけるようになった時で。もっと色々教わりたいかったな。でも逆に振り返ってみると、子供だったから細かく色々教えていただいたものもあるんだと思います。

—今回の『相模蟹』は紫さんの振付けですが…
笑三郎 紫先生はオーソドックスな作品を面白く作り変えるということを随分なされた方ですね。『相模蟹』は晩年に手がけられた作品で、色々なことをやり尽くして、もうやることがないから普通に踊る演目を「紫風にしましょう」と変えられた、最近の作品かな。普通は人を河豚(カマド)に見立て絡むことが多いんですが、『漁師』という作品の趣向を取り入れ、愛らしい鯛の着ぐるみ相手に踊るんです。着ぐるみって登場するだけでも楽しいですからね。そういう作品に仕上がっています。一橋弁慶はいかがですか？

弘太郎 今回は今まで無い「前」が付きます。前が出ることはあまり無いので珍しいですね。大先輩の寿猿さんが昔やったのを覚えていら

して、振りを起こしていただいたので、とても楽しみにしています。

—今回の『歌舞伎舞踊への誘い』は、どんな内容になりそうですか。少しだけ…

笑三郎 「踊り」とマイムに関することを少し取り入れて、リアルなパントマイムの動きと、同じ動きでも日本舞踊にすると、こんな風にデフォルメをされる、という比較をお見せしようかと思っています。歌舞伎舞踊独特の音楽や効果音の対比とか。全て対比でやってみようと思うんです。せっかく春秋座という大学の中でやる試みですので、いろんな技術を駆使してお見せできたらと思って準備中です。楽しみにしてください。

(続きは4月劇場HPにて掲載予定)



6月19日(土)・20日(日) 15:00

●公演情報の詳細は▶P.6

『海の讃歌』による 初来日公演が実現！ フランス演劇界の巨匠 クロード・レジ

最新作『海の讃歌』で初来日公演を行うフランス演劇界の巨匠、クロード・レジ。その半世紀以上にわたる演出家人生をクローズアップします。

クロード・レジといっても、日本では知る人は極めて限られているだろう。しかし、フランスでは、いやフランスだけではなくEU諸国において、もっとも正統的かつ過激な演出を続けている長老として知られている。レジの作業を特長付けている様相を挙げれば、第一に、文学的に極めて前衛的なテキストを徹底的に読み込んで、他に類のない禁欲的で硬質な舞台表象として実現していること。マルグリット・デュラスの戯曲の演出は、その分かりやすい例だろう。第二に、その際、役者に、テキストの要求する「臨界的な」までの体験を、通常の演技の文法を超えて体験させることに成功していること。たとえば名女優マドレーヌ・ルノーの晩年に、彼女の「名演技」を封じて実現したデュラスの『イギリスの恋人』はその見事な例である。あるいは、アメリカのジャーナリストが書いた『ホロコースト』を、劇場の鉄のカーテンを降ろし



クロード・レジ ©Mario Del Curto

挙げることによってであった。

私としては、ジャン＝ルイ・バローの劇場で、観世寿夫が、結局は彼の最後の欧州巡業となる公演の後で、デュラスと一緒に居るレジに会ったのが最初であったが、レジの演出と「能」との近親性は、原因・結果は別として、一条の光のように思えた。最晩年のルノー夫人のデュラス(たとえば『エデン・シネマ』)を、レジ演出で見ることができた幸いは、ビュル・オジェやロンスダール、カトリーヌ・セレルスといった魅力的な俳優の演技と共に、1970年代後半の最もよき思い出となっている。演出家としては、デュラス作品は『アガタ』しか演出していない私だが—これはレジが演出しなかったデュラスである—、能に想を得ることの出来るものを最大限に活かした積りであった。それは、ほかならぬクロード・レジへの、私なりの“Hommage”なのであった。

そのレジの最新作を、京都造形芸術大学舞台芸術研究センターの企画公演として春秋座の舞台に実現することとなった。十歳年下の演出家として、「一期一会」とも言うべき興奮を抑えて、初日を待っている。

文：渡邊守章
(舞台芸術研究センター所長・教授・演出家)

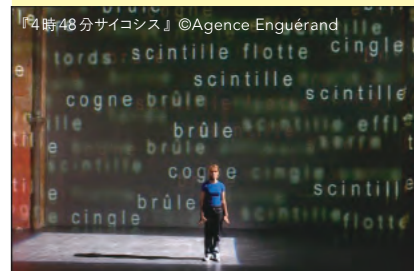
クロード・レジ Claude Régy

フランスの演出家。1923年生まれ。特定の劇場や劇団に属することなく、独自の理念で、主に同時代の作家の作品を上演し続けている。1952年から活動をはじめ、初期にはガルシア・ロルカやメーテルリンクなどを演出していたが、1960年代にマルグリット・デュラスの作品と出会い『イギリスの恋人』(マドレーヌ・ルノー主演、1969年)などを演出。さらに1965年からはビクター・オズボーン、ストップワードなど英米の作品を手がけ、1970年代以降はナタリー・サロートの作品を上演する一方で、ペーター・ハントケ、ポート・シュトラウス(『再会の三部作』1980年)など、ドイツ語圏戯曲の紹介にも努めている。メーテルリンクの『内部』(1986年)やアンリ・メジヨンック訳の聖書の一部をもとにした『賢者の言葉』(1995年)では、言葉や声に関



『だれか、来る』©Enguérand

する徹底した探求の成果が見られた。近作ではノルウェーの現代作家ヨン・フォッセの『だれか、来る』(1999年)やサラ・ケイン『4時48



4時48分サイコシス』©Agence Enguérand

分サイコシス』(イザベル・ユペール主演、2002年)などの刺激的な舞台で話題を集めている。1981年以降、パリ国立俳優学校(コンセルヴァトワール)教授。その著作によっても、多くの若い演出家や俳優に影響を与えている。

4 april 2010

12日(月) 16:20 公開連続講座① ◆春秋座
日本芸能史「総論 聖と俗～神仏を中心に」
理論：諏訪春雄

17日(土) 17:30開演 ◆春秋座
DOWNTOWN FOLLIES Vol.7
一男らしく姦しくー



昨年、当劇場で大好評を得た「DOWNTOWN FOLLIES」が今年も上演決定！前代未聞のミュージカル・レビューとして02年の初演から常に進化し続け早7年。ミュージカルのスタンダードナンバー、ビートルズもあれば最新のR&B、シャンソン、歌謡曲となんでもござれの歌の世界に、パレエにジャズ、タップにヒップホップとあらゆるダンスを取り入れ、さらにはコント、モノマネ、パロディや最新の流行までもを加えゴージャスにお贈りする彼らの世界は他では決して観ることが出来ません。さらに当劇場がオープンしてから10年目を迎えるにあたり、音響設備をグレードアップ。今までより一層、良いサウンドでお楽しみいただけます。

今回は、男性キャスト1名に対して女性キャスト3名という異例の構成。黒一点、男性キャストの運命やいかに?!
大人のための、おしやれでチャーミングなミュージカル・レビューどうぞお越しください。

出演：島田歌穂 香寿たつき 北村岳子 平澤智
演奏：DOWNTOWN FOLLIES 管弦楽団

【チケット発売中・全席指定】
一般 7000円 友の会 6000円
シニア 6500円 学生&ユース席 2000円
※学生&ユースは座席範囲指定あり

□京都芸術劇場チケットセンター＋劇場オンラインチケットストア
□電子チケットぴあ Pコード 399-774

新聞 KBS 生協 音協

19日(月) 16:20 公開連続講座② ◆春秋座
日本芸能史「聲明」

実演：天台宗総本山比叡山延暦寺法儀音律研究部
解説：木戸敏郎

24日(土) 14:00開演 ◆春秋座
かのんぷ♪ 感謝コンサート



ピアノ&ボーカル中村里衣とクラシック・ギター&ウクレレ中村大介によるアコースティックユニット「かのんぷ♪」の京都初コンサート！
日本の心をテーマに前半は「なごり雪」「翼をください」など懐かしの歌を、後半は木

ピアノ&ボーカル中村里衣とクラシック・ギター&ウクレレ中村大介によるアコースティックユニット「かのんぷ♪」の京都初コンサート！
日本の心をテーマに前半は「なごり雪」「翼をください」など懐かしの歌を、後半は木

【チケット発売中・全席指定】
一般 2000円 友の会 1600円
シニア 1800円 学生&ユース 1000円

□京都芸術劇場チケットセンター＋劇場オンラインチケットストア
□電子チケットぴあ Pコード 341-969

新聞 KBS 生協

26日(月) 16:20 公開連続講座③ ◆春秋座
日本芸能史「御神楽」実演：伏見稻荷大社 解説：木戸敏郎

28日(水) 18:30開演 ◆春秋座
chidoriya rocks “みどりあそび”

chidoriyaが新緑の京都で、音楽とアートに思いっきり浸る1日を構想。伝統とアヴァンギャルドの双方が気持ち良く交わります。
出演：UA・OpenReelEnsemble・小桃(宮川町芸妓)・宮川町舞妓

【チケット発売中・全席指定】
一般 5250円 学生 3800円

◆お問い合わせ
清水音泉(サウンドクリエイター内)
Tel.06-6357-3666

□京都芸術劇場チケットセンター
□電子チケットぴあ Pコード 100-916
□ローソンチケット Lコード 57738 □e-plus

5 may 2010

1日(土)・2日(日) 時間未定 ◆学生公演
シュウ 一囚一

舞台芸術学科生による、本学オープンキャンパスでの演劇自主企画公演です。作・演出の和田華子が創作した戯曲上の言葉・考案する演技表現が、自身以外の人間(スタッフ・役者・観客)を介するとどう変動するか、舞台上の空間で有効かどうかを実験的に試みます。

【受付中】無料 ◆お問い合わせ Tel.080-5051-3684(イマイ)

8日(土) 14:00開演 ◆春秋座
市川猿之助 芸術監督プログラム 藤間紫を偲んで
春秋座歌舞伎舞踊公演

〈上演演目〉
『歌舞伎舞踊への誘い』市川笑三郎 ほか
長唄『橋弁慶』弁慶/市川段治郎 牛若丸/市川弘太郎 従者/市川猿紫
長唄『相模猿』猿/市川笑三郎 ちち/市川猿紫
長唄 杵屋勝四郎社中 鳴物 田中傳次郎社中



『橋弁慶』
四段目の「一条大蔵譚」などで知られる『鬼一法眼三略巻』の五段目を舞踊化。五条橋での牛若丸と弁慶の出会いを描き、弁慶の骨太の剛と能風の上品さが程よくマッチした作品です。牛若丸の軽妙な動きにもご注目ください。

『相模猿』
相模の江ノ島を望む海辺で海女乙女が貝拾いに興ずるさまを舞踊化。貝づくしを歌いこんだ文句の踊り地は、山田流の琴唄「江ノ島」からの転用といわれています。また当時上方で流行した馬子唄、貝づくしなど広重の浮世絵にでもあるような風情も魅力です。今回は、昨年惜しくもこの世を去った初世藤間紫の振付で「漁師」という作品の趣向を取り入れ、鯛が登場し、海女と鯛の絡みの演出で上演。鯛のかわいらしい所作もみどころです。

【チケット発売中・全席指定】
一般 8000円 友の会 7000円
シニア 7500円 学生&ユース席 2000円
※学生&ユースは座席範囲指定あり

□京都芸術劇場チケットセンター＋劇場オンラインチケットストア
□電子チケットぴあ Pコード 401-357

新聞 KBS 生協
※学生&ユース席は京都芸術劇場チケットセンターと大学生協プレイガイドのみの取り扱い

10日(月) 16:20 公開連続講座④ ◆春秋座
日本芸能史「壬生狂言」 実演：壬生大念仏講

15日(土) 15:00開演 ◆春秋座
坂東玉三郎が語る 泉鏡花作「海神別荘」

朗読と音楽で綴る言の葉コンサート
水底の宮殿を舞台にした泉鏡花の作品を、歌舞伎界の立女形・坂東玉三郎による朗読と朝川朋之のハーブの演奏でお届けいたします。衣装や舞台装飾はありませんが、言葉の美しさと幻想味あふれる世界が堪能できます。

朗読：坂東玉三郎(歌舞伎俳優) 音楽：朝川朋之(ハーブ)

〈あらすじ〉
海底にある宮殿の公子の元へ、地上の美女が興入れします。やさしい言葉をかけ美酒でもてなしますが、美女は公子にその幸福感を語るものの、いつまでも地上の未練を訴えます。すると公子はもはや美女が人間ではなく、美しい蛇になったと告げます。深く悲しむ美女に公子ははだいに怒りを顕わにし、臣下に命じて斬ろうとします。すると、できるなら公子の手にかかって死にたいと切望し公子もためらうことなく剣を向けますが、その刹那の公子の表情を見て、美女はようやく心を通わせるのでした。



【チケット発売中・全席指定】
一般 6000円 友の会 5000円
シニア 5500円 学生&ユース 2000円(150席限定)

□京都芸術劇場チケットセンター＋劇場オンラインチケットストア
□電子チケットぴあ Pコード 400-119

新聞 KBS 生協

17日(月) 16:20 公開連続講座⑤ ◆春秋座
日本芸能史「能」 理論：諏訪春雄

22日(土) 14:00開演 ◆春秋座
京都ライオンズクラブ 第三回文化講演会
暮らしの中の伝統文化 ―床の間という空間―

日本人の住空間にとって大切な存在である床の間が、住宅事情の急激な変化や暮らす人々の感性の変化により減少しつつあります。今回は床の間という空間で表現される、掛け軸、お花にスポットをあて、四季の移ろいを大切にしてきた日本人として大切な空間を形作る技術をどの様に次世代に繋げていけるかを考えてみたいと思います。

【チケット受付中】 入場無料・要事前申込み

◆お申し込み・お問い合わせ 京都ライオンズクラブ事務局
Tel.075-371-6905 Fax.075-371-7455

24日(月) 16:20 公開連続講座⑥ ◆春秋座
日本芸能史「能」 実演：片山清司

5 may 2010

□ 演劇 / 主催公演

29日(土)・30日(日) 各日14:00開演 □studio21

29日(土) トークゲスト: 小林康夫 (東京大学大学院教授)

30日(日) トークゲスト: 平田由美 (大阪大学大学院教授)

渡邊守章 企画・構成・演出 語りの系譜②

樋口一葉作『にこりえ』



昨年上演の「たけくらべ」より
撮影: 徳永ひろみ

日本の伝統演劇における「語り」としての「言葉」のありかたは、その身体的な力や音楽的強度によって、新しい演劇言語の可能性を開くものとして、世界的に注目されています。舞台芸術研究センター企画としては、20世紀最大の劇詩人ポール・クロードの集大成的大作『繻子の靴』のオラトリオ版(野村万作・萬斎、後藤加代主演)に続き、「語りシリーズ」として、樋口一葉作『たけくらべ』を、後藤加代の語りで上演し、観客に深い感銘を与えました。これらの成果を踏まえて、今年、同じく一葉作『にこりえ』を、後藤加代の語りでお届けします。

明治の東京の「新開地」にある銘酒屋「菊の井」の一枚看板のお力は、優れた職人であった源七を破滅させるような女であり、ふりの客である朝之助と馴染みになるものの、彼女を思い切れない源七の刃にかかって落命します。西洋世紀末の文学的テーマである「宿命の女」を思わせるお力の「生き様」と「言葉」は、明治女流文学の第一人者の筆によって、時代を超えた女性の悲劇として、映画や舞台でも取り上げられています。

【3月25日(木)10:00 チケット発売・全席自由・整理番号順入場】

一般 2500円 友の会 2000円 学生&ユース 1300円
シニア 2200円 瓜生山学園生 800円

※当日は各500円増 ※未就学児童入場不可
※演出の都合上、開演後の入場は制限される場合がございます。
予めご了承ください。

□京都芸術劇場チケットセンター + 劇場オンラインチケットストア

□ 講演・レクチャー

31日(月) 16:20 公開連続講座⑦ ◆春秋座
日本芸能史「平曲」 実演: 今井勉

「舞台芸術」全15巻 好評発売中!

舞台芸術研究センターで発行している機関誌『舞台芸術』をご存じでしょうか。京都芸術劇場でおこなわれる舞台芸術研究センター主催の実験公演・研究活動の報告や、そのプロセスなどを公開する書籍です。各号ごとに特集を設け、古今東西のパフォーミング・アーツを今日的な視点で切り取り、21世紀における舞台芸術の新たな可能性について考察します。



1冊: 2100円(税込)

《セット価格》

★01~10号: 21000円 → 18900円(税込)

★01~15号: 31500円 → 28000円(税込)

【申し込み】お名前、ご住所、電話番号、E-mailをご記入のうえ info@k-pac.orgへ、お申し込みください。折り返し当方よりご連絡を差し上げます。また全国の有名書店、舞台芸術研究センターでもお買い求めいただけます。※セットは当センターのみの取り扱い(送料無料)。

6 june 2010

□ 講演・レクチャー

7日(月) 16:20 公開連続講座⑧ ◆春秋座
日本芸能史「淡路人形浄瑠璃」 実演: 淡路人形座

□ 講演・レクチャー

14日(月) 16:20 公開連続講座⑨ ◆春秋座
日本芸能史「京舞」 実演: 井上八千代 聞き手: 田口章子

□ 演劇 / 主催公演

19日(土) 15:00開演 ◆春秋座 舞台上

※ポストパフォーマンスストークあり
(ゲスト: クロード・レジ、聞き手: 渡邊守章)

20日(日) 15:00開演 ●特集▶P.3

『海の讃歌』

※日本公演の舞台装置は写真とは異なります。



© Mario del Curto

作: フェルナンド・ベソア (ポルトガル) 演出: クロード・レジ (フランス)

出演: ジャン＝カンタン・シャトラン (スイス)

仏語上演・日本語字幕付き

「私は夢なのかも知れない

誰かが、別の世界で、私のことを夢見ているだけなのかも…」

誰もいない波止場にたち、詩人は“得体の知れないもの”を眺めている…

ポルトガルの詩人、フェルナンド・ベソア (1888-1935) の800行を超える長篇詩が、フランス演劇界の長老クロード・レジの演出によって春秋座の舞台上に立ち上がる!

昨年発表され、アヴィニョン演劇祭でも話題をさらったレジ最新作です。どうぞお見逃しなく!

【4月20日(火)10:00 チケット発売・全席自由・整理番号順入場】

一般 4500円 友の会 3500円 学生&ユース 2000円
シニア 4000円 瓜生山学園 1500円

※当日は各500円増 ※未就学児童入場不可
※演出の都合上、開演後の入場は制限される場合がございます。
予めご了承ください。

□京都芸術劇場チケットセンター + 劇場オンラインチケットストア

□ 講演・レクチャー

21日(月) 16:20 公開連続講座⑩ ◆春秋座
日本芸能史「万歳(尾張万歳)」 実演: 尾張万歳保存会

□ 講演・レクチャー

28日(月) 16:20 公開連続講座⑪ ◆春秋座
日本芸能史「琵琶」 実演: 上原まり

7 july 2010

□ シンポジウム / 主催公演

3日(土) 14:00開演 ◆春秋座

京都のくろわと芸能研究会 第一回 シンポジウム

花街は「神社門前」「河原」「公権力」の3つの要因で誕生し、発生場所と理由は歌舞伎や文楽、能、狂言などと一致します。近世初頭に一方は花街(女性と芸能)、一方は劇場興行(男性と芸能)へと分化し、共通の芸能と独自の芸能を育ててきました。

今回は、花街の芸能が歌舞伎などと同じ母から生まれた血の通った姉弟であることを確認し、実は花街史と日本芸能史が切り離せない関係にあることを明らかにします。

特に近世以降、花街は上方歌舞伎などとともに京文化を支えてきました。京文化は日本伝統文化の神髄であり、上方歌舞伎がほとんど姿を消してしまっただけでなく、花街文化の灯を消してはなりません。

シンポジウムでは、もうひとつの日本芸能史を探ることだけにとどまらず、京文化と日本文化、さらには《日本文化の母》の本質にまで迫る大きなテーマが展開されるでしょう。

パネリスト(五十音順):

井上八千代(井上流家元) 清水久子(祇園お茶屋廣島家女将)

諏訪春雄(学習院大学名誉教授) 波木井正夫(祇園波木井主人)

司会進行: 田口章子(京都造形芸術大学教授・舞台芸術研究センター主任研究員)

【4月12日(月)10:00 チケット発売・全席自由】

500円(当日600円) 瓜生山学園生 無料
□京都芸術劇場チケットセンター + 劇場オンラインチケットストア

□ 講演・レクチャー

5日(月) 16:20 公開連続講座⑫ ◆春秋座
日本芸能史「神楽」 実演: 石見神楽温泉津舞子連中

□ 音楽 / 主催公演

10日(土) 14:00開演 ◆春秋座

バッハからピアノラまで何でもこなす天才4人組!

テレム・カルテットコンサート



今ヨーロッパで大人気の4人組、待望の来日公演。巨大バラライカ、ドムラ、バヤンなどロシア伝統楽器を使い、バッハのオルガン曲からピアノラのタンゴ、ポピュラー曲、映画音楽のアレンジ等々、あらゆる国のあらゆるジャンルの音楽を取り入れ、超人的超絶技巧で独自の音楽を作り上げるサウンドが魅力です。ローマ法王列席のバチカン・コンサートでは12万人の聴衆の度肝を抜き、アカデミー賞監督ニキータ・ミハルコの招きでカンヌにも凱旋。そのほか英国セント・ジェームス宮殿でのチャールズ皇太子御前演奏、バルセロナ五輪、ハノーヴァー万博…と彼らは活躍の舞台を世界に拡げてきました。また、共演歴もナイジェル・ケネディからポピー・マクファーリン、ピーター・ガブリエル、元レッド・ツェッペリンのロバート・プラント…と数知れません。

民族楽器という限定音楽しか演奏できないとされてきたものを、彼らの高い演奏技術とアレンジ力で民族楽器の枠を越え「ロシアの楽器から、インターナショナルな音楽へ」「音楽の世界はひとつである」ということをロシアから発信しています。

さらに今回はソリストとして各地のオーケストラと共演するなど世界で活躍する京都出身のシンガー柱本めぐみが参加。日本の童謡をテレム・カルテットのアレンジと彼女の新鮮な歌声で披露します。

【4月6日(火)10:00 チケット発売・全席指定】

一般 5000円 友の会 4000円

シニア 4500円 学生&ユース席 1500円

※学生&ユースは座席範囲指定あり 特別出演・柱本めぐみ

□京都芸術劇場チケットセンター + 劇場オンラインチケットストア

□電子チケットぴあ Pコード 100-518

新聞 KBS 生協 音協

□ 音楽

17日(土) 14:00開演(13:30開場) ◆春秋座

第9回 響きeyeコンサート



今年の舞台より

今年で9回目となる京都造形芸術大学和太鼓教育センター登録会員及びチームの和太鼓教室修了発表会。

【発売日未定】 有料(詳細未定)

□和太鼓教育センター Tel.075-791-9145

□京都芸術劇場チケットセンター

4月22日(木) 19:00 ◆京都造形芸術大学内

『新宿八大伝』新作記念企画公開対談シリーズ第1弾 「80年代⇄現在」—私たちはその時、どう生きていたのか?

川村毅が、毎回、辻仁成や内田春菊など同世代の文化人をゲストに迎え、肩肘張らない軽いトークで80年代の文化やアート、演劇シーンなどを振り返りつつ、今後の新たな展開について語る対談シリーズの第1弾!

■ ■ ■

「新宿八大伝」は1985年に初演された。そこで今回、今年10月に「新宿八大伝 第五巻」を上演するにあたり、今一度80年代を考えてみようという企画。閉塞感漂う現在、軽い時代ととらえられていた80年代のエネルギも捨てたもんじゃないという思いで、同世代、その時期二十歳代であった辻仁成と、80年代を通して今を挑発したい。具体的にはその時期の自分と自分の仕事、さらにその時期に触れた文学、映画、舞台などを雑談しつつ、さてこれからどうするってなことを探る。 川村毅(京都造形芸術大学 舞台芸術学科長)

出演: 川村毅 辻仁成

【入場無料】 ●お問い合わせ 舞台芸術研究センター Tel.075-791-8199

2010年度 公開連続講座「日本芸能史」 聖と俗

「日本芸能史」は2002年度から始まり、本年で9回目を数える大変人気のある講座です。この講座では伝統芸能の第一線で活躍している専門家や一流の研究者を講師に迎え、実演をまじえながら、解説をくわえていただきます。2010年度のキーワードは、「聖〜神仏を中心に」(前期)と「俗〜人を中心に」(後期)。新たな視点で芸能史を体験することで伝統芸能の歴史と創造のあり様がみえてくるはずですよ。

前期(全12回) 2010年4月12日—7月5日

後期(全12回) 2010年10月4日—2011年1月24日

毎月月曜日 16:20—17:40 会場/春秋座 受講料/各期12000円

●お問い合わせ 瓜生山エクステンションセンター Tel.075-791-9124